令和６年３月６日

第１・２学年保護者の皆様

つくばみらい市立伊奈中学校長　小松﨑 茂

横断が危険な道路を通らない通学路への変更について

啓蟄の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動およびＰＴＡ活動へあたたかいご支援をいただき、感謝いたします。

さて、標記の件について、２月５日（月）より１週間実施した試行をもとに、生徒へのアンケート、第３回ＰＴＡ理事会でのヒアリングを踏まえ、下記のとおり実施することとしました。

生徒の安全な通学のため、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

記

１　変更日　　令和６年３月１２日（火）から

２　対象　　小張、陽光台、紫峰ヶ丘地区から通う生徒

３　変更内容　　愛宕神社わきの県道１２７号線を横断しない

４　その他

県道１２７号線沿いに自宅がある等の理由で、やむを得ず横断せざるを得ない状況の方は、ご相談ください。

問合せ先
つくばみらい市立伊奈中学校
生徒指導主事
電話 0297-58-0201

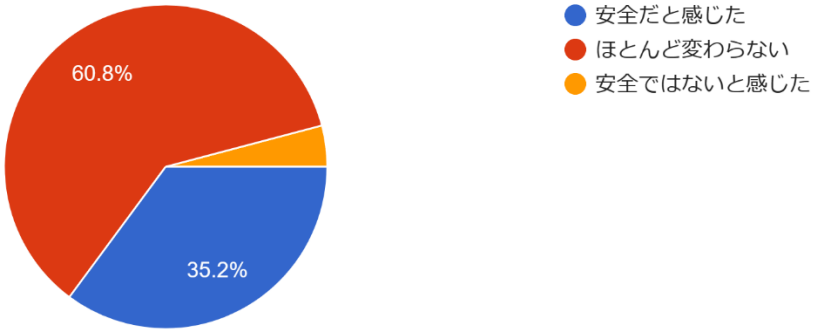
（資料１）横断が危険な道路

横断が危険な箇所 S 字カーブに下り坂が加わる。	**登校時の生徒の視点** 手前の草が、さらに生徒の視界をさえぎる

（資料２）今回の通学路変更（試行）について生徒アンケートの結果

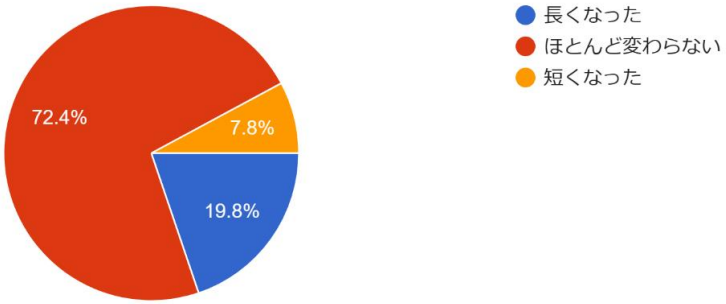
（第１回　令和６年１月２６日　２８５名　　第２回　令和６年２月１６日　２９３名）

１　安全について



通学路を変更しても、「ほとんど変わらない」と答えた生徒が６割を超え、「安全だと感じた」生徒が３割を超える。

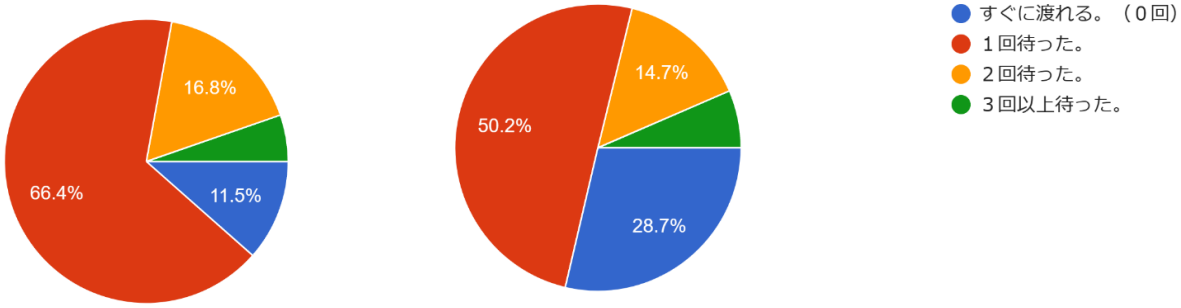
２　通学にかかった時間



通学路を変更しても、８割の生徒が「ほとんど変わらない」「短くなった」と答えている。

３　通学路上の押しボタン式信号の待ち時間の変化

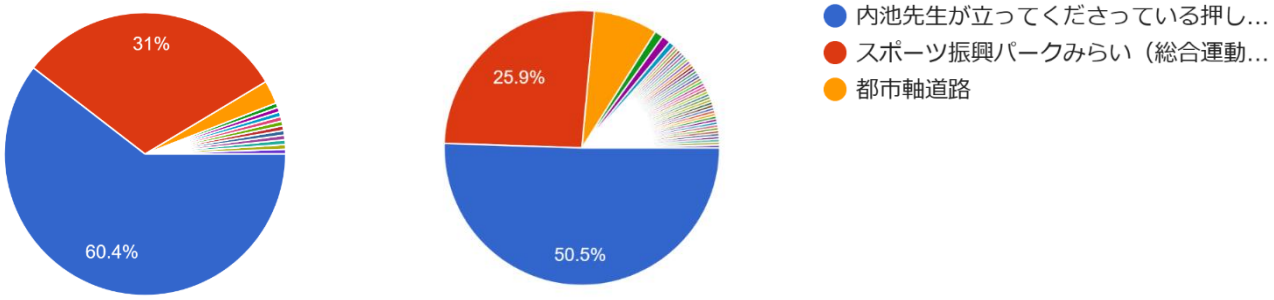
［試行実施前］　　［試行中］



試行中は、生徒の通学路が分散したために、押しボタン式信号機への混雑は軽減した。

４　通学路について

［試行実施前］　　［試行後］



横断が危険な県道を避け、押しボタン式信号で横断したり、都市軸道路を通行したりする生徒が増加している。